

食品安全関係情報(6月15日～6月28日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

6月15日～6月28日収集件数 (合計98/104件) (前回)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (3/7件)	米国 (12/7件)	カナダ (1/5件)	EU、EFSA (31/32件)	各国 (13/15件)	FSANZ等 (4/2件)	中国 (2/5件)	各国 (10/7件)	各国 (0/0件)	報道、論文等も含む (22/24件)
化学物質 (43/42件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	食品添加物 (12)	0	0	1	6	1	0	2	1	0	1
	農薬 (19)	0	5	1	11	0	0	0	1	0	1
	動物用医薬品 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (25/27件)	細菌 (2件)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	ウイルス (12)	4	1	2	0	1	0	1	0	0	3
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (4)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	動物性自然毒 (1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他 (7)	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3	
新食品等 (13/11件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (10)	0	0	0	2	1	1	0	0	0	6
	健康食品 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肥料・飼料等 (2/4件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (4)	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (15/19件)	表示 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (17)	1	0	0	7	3	1	1	1	0	3
海外の食中毒 (0/1件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(6月15日～6月28日収集分98件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・国際連合食糧農業機関 (FAO)、第77回FAO/世界保健機関 (WHO) 合同食品添加物専門家会議 (JECFA) 会議の概要及び結論を公表
- ・欧州食品安全機関 (EFSA)、食品添加物及び飼料添加物として認可されている食用赤色40号(アルラレッドAC)及びその他のスルホン化モノアゾ色素類に関する声明を公表
- ・英国食品基準庁 (FSA)、食品製品中のアルミニウム及びマンガンのバイオアベイラビリティの評価結果を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR)
 - ・食品中の硝酸塩及び亜硝酸塩に関するFAQを公表
 - ・ヒトの尿中のグリホサート濃度が健康への懸念をもたらすレベルを大幅に下回っていた旨を公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・欧州食品安全機関 (EFSA)、食品及び飼料中のニバレノールのヒト及び動物の健康に対するリスクに関する科学的意見書を公表
- ・欧州疾病予防管理センター (ECDC)、理事年次報告書(2012年)を公表
- ・英国動物衛生獣医学研究所 (AHVLA)、グレート・ブリテン及び北アイルランドにおける牛の伝達性海綿状脳症サーベイランス結果(2013年:1頭目)を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR)、動物及び食品中の人獣共通感染性病原体に関する2011年報告書を公表

【新食品等】

- ・米国農務省 (USDA)、オレゴン州で自生していた遺伝子組換え小麦の検出法を開示

【その他】

- ・オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)、「FSANZ と国際的な食品安全機関との関わり」についての情報を公表